

登録日 2014/4/18

登録番号 Nsc1026

腫瘍名 非小細胞肺がん

申請医師 呼吸器内科

### 投与スケジュール

CBDCA+nab-PTX			21日毎 × 4~6コース			
			1コース		2コース	
			1	8	15	22 ... (day)
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 30分	↓	↓	
②	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 30分	↓		↓
③	アブラキサン 生理食塩水	100 mg/m <sup>2</sup> 100 mL	点滴 30分	↓	↓	↓
④	生理食塩水 (アブラキサン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓	↓
⑤	カルボプラチン 5%ブドウ糖	AUC 6 250 mL	点滴 60分	↓		↓
⑥	生理食塩水 (カルボプラチン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓		↓

### 注意事項

- ・適応: 扁平上皮がん に積極的適応 (特に扁平上皮がん に有用となる他の治療が少ないため)
- ・インラインフィルターは使用しない (アルブミン結合製剤のため、目詰まりを起こすため)
- ・特性生物由来製品に該当することから、施用記録の保存は他の特定生物由来製品に準ずる。  
血液製剤の同意書は3カ月ごとに取り直す (当院輸血委員会の取り決め)

#### 【調製上の注意】

溶媒は必ず生理食塩水を使用すること (生食20mL/Vで溶解する)  
 溶媒として使用した生理食塩水の残液は全てボトルから抜き取り、破棄する。  
 空になったボトルにアブラキサンを溶解した懸濁液を入れる。  
 懸濁液は調製後速やかに使用する。または、例所(2-8℃)に遮光保存して8時間以内に使用する。  
 末梢神経障害予防としてブシ末・牛車腎気丸などの支持療法を積極的に使用する。

#### 【減量基準】

通常投与量: 100mg/m<sup>2</sup> 1段階減量: 75mg/m<sup>2</sup> 2段階減量: 50mg/m<sup>2</sup>

#### 【中止基準】

血液毒性: 白血球 < 2000/mm<sup>3</sup> または好中球 < 1000/mm<sup>3</sup> または PLT < 5.0 × 10<sup>4</sup>/mm<sup>3</sup>  
 非血液毒性: 24時間以内の38度以上の発熱、Grade2以上の有害事象 (便秘、咳、嘔声は除く)

### 参考文献

Weekly nab-Paclitaxel in Combination With Carboplatin Versus Solvent-Based Paclitaxel Plus Carboplatin as First-Line Therapy in Patients With Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer: Final Results of a Phase III Trial, *J. Clin. Oncol.*, **30**, 2055-2062(2012).